

## 「住吉上防災会」第4回防災イベント開催のお知らせ

平成31年 1月 吉日

住吉上防災会長

住吉上自治会長

新春の候 町内の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、東日本大地震から8年、首都直下、東南海トラフ等大規模災害が懸念される中、「備えあれば憂い無し」の如く、防災イベントを企画しました。

大規模災害時は、電気・ガス、水道等のライフラインがストップし公的機関の迅速な救援は困難です。自分の命は自分で守る自助、地域は、隣近所の連携と協力で守るといふ共助、地域のお互い様という気持ちが地域を救うこととなります。そのためには、地区の人達の防災訓練が大切です。今企画は、町内の子ども達と「まち中探検、消火器訓練、毛布搬送訓練等」を行った後、トン汁、五目御飯などの炊出し訓練を通じて非常食の試食を体験するものです。いずれも無償提供します。多くの町内の皆様の参加を待っております。

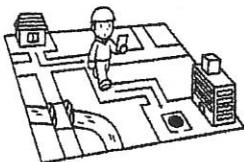


### 記

- 1 開催日 平成31年2月10(日) 午前10時 ~ 午前12時頃まで
- 2 開催場所 子ども広場
- 3 主催 自主防災組織 住吉上防災会 共催 住吉上自治会
- 4 協賛 水戸市役所環境市民生活課危機管理室、消防本部予防課
- 5 実施項目



#### (1) 町なか探検



子どもたちと数グループに分かれ、『住吉上防災マップ』を基にコースを定め、町内の探検を行う。

危険な箇所(高いブロック塀)、避難経路、防火水槽等をは握するほか、AEDや子どもを守る110番の家等の確認を行う。実施後、結果報告を行ないます。

#### (2) 消火要領、消火器の扱い(市消防関係者)



#### (3) ジャッキを利用した救出・救助訓練

(単管パイプ、パイプジャッキの活用等町内役員)

#### (4) 毛布活用の搬送訓練・段ボールペットの組立て

#### (5) 非常食・保存食の試食 (市危機管理課)



# 平成30年度:住吉上防災会第4回防災イベントの開催(案)

～大地震への備え～

司会 伊藤副会長

日時 平成31年2月10日(日)午前10時から正午まで  
会場 水戸市住吉町10-9「木我氏」方前「子ども広場」

主催 住吉上防災会 共催 住吉上自治会  
協賛 水戸市消防本部消防予防課、水戸市役所環境部市民生活課危機管理室

時間	内容	担当者と準備品	備考
事前準備 午前9時30分	事前準備「テント2張り」の設置 机(受付、マップ作成用)、椅子等	参加各班長等 参加人数に応じて準備	
式典(10:00)	参加者は「市役所指定の避難者受付名簿」を利用し 人員掌握 伊藤副会長 開会宣言、セレモニー、自己紹介等  ①開会の言葉 ②町内会長挨拶 ③防災会長挨拶 ④本日の日程と内容紹介 ⑤参加者と子ども達と各班長の自己紹介 来賓及び支援者の紹介(市職員等)	班と住所、氏名、年齢 アレルギーの有無のみ記載 (参加人数 50枚用意)  司会 伊藤町内副会長 瀧川会長 加瀬会長 伊藤町内副会長  紹介 防災会長	町内名簿 持参 受付時 人員掌握
1 消火器訓練	初期消火班対応 長谷川好三⑪-B 4班編成し、大人・子ども体験	消防予防課 2名 水消火器4本	
2 街なか探検	防災、交通、防犯上の危険な場所、安全な場所 の探検は、3班編成ないし4班(人数による) 第1班 清田俊明⑩・情報連絡班 名 第2班 鈴木 健⑫・情報連絡班 名 第3班 富澤進吾⑨-A・児童対策班 名  帰所後、各班発表 1班 約3分 講評	◎図板借用(吉田小教頭) ◎町なか探検実施項目を持参 別紙	
3 ジャッキアップ 訓練	木村徹男②-A 小林理博⑬(副会長)		
4 毛布での搬送 リヤカー	搬送訓練 搬送訓練	毛布2枚 危機管理課	
5 段ボールベット の作り方	防災会長	段ボールベット組立て 防災士	
6 パーテーション	危機管理課から借用	パーテーション一組(間仕切) 危機管理課	
7 炊出訓練 五目御飯 トン汁	金澤武雄⑭・瀧川公子⑨-B 給食給水班 8名 ◎ 市提供の災害用非常食の試食(五目ご飯) ◎ トン汁(災害用トン汁試食) ◎ 非常食の配布	お湯 8ℓ × 2 16ℓ  配膳、盛り付け、参加女性班長	

# 町なか探検実施項目

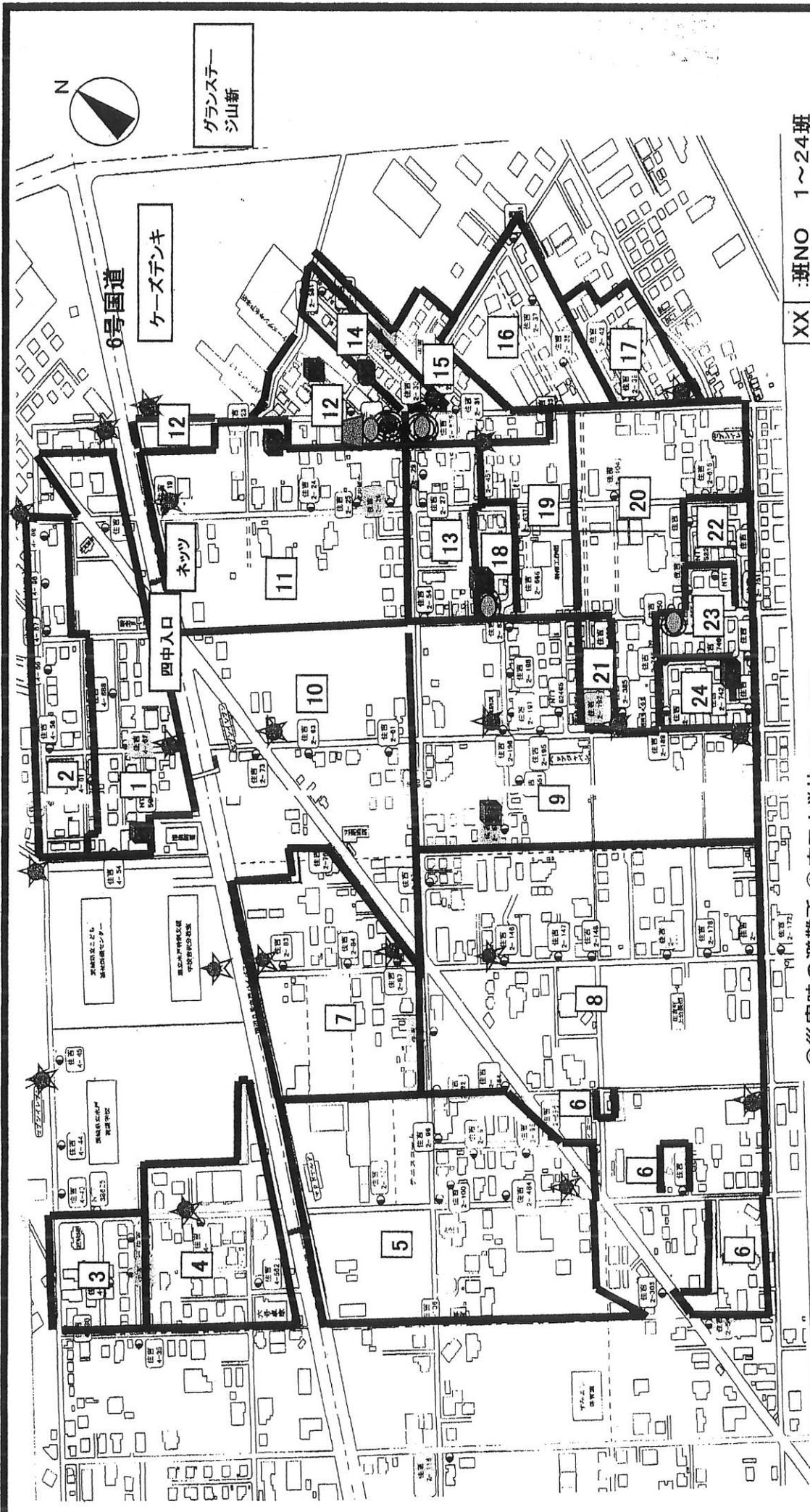
H30. 12

下記項目は「震度6弱、6強程度の地震を想定し、住宅密集地の住吉上地区で自分の身を守り、隣、近所の人達と協力しあい、防災力向上を発揮するために行う活動と心得です。」

NO.	項目	内容	指導班
1	防火水槽・消火栓 (バケツリレー)	大地震では、同時多発火災が予想される。近所同士の助け合いバケツリレーで初期消火、延焼防止が大切です。 ①看板はあるか？②看板が破損していないか？ ③見える位置にあるか？④イザという時は、バケツリレーを考え	29年度・看板、標識等補修完了。
2	災害協力井戸 (生活用水確保)	水戸市内では、381ヶ所、吉田地区では、21ヶ所住吉上では、1ヶ所あります。ただし、停電時は発電機が必要です。井戸水ですが、飲用には適しません。煮沸して飲用水として使用。	
3	高いブロック塀 屋根の瓦、自動販売機、 看板	緊急地震速報を聞いたら、直ちに行動、身の安全を確保する。 倒れてこない、落ちてこない、移動してこない【安全な場所】 素早く移動する。自宅では、座布団やクッションで頭を保護。 【注意事項】 ◎慌てて飛び出さない・・・屋根からの落下物で危険。 ◎ビルの近くでは、落下する看板、ガラス破片がある。 かばん等で頭を保護し、安全と思われる場所へ移動する。 ◎地震だ、まず身を守れ、そして火を消せ。 最近のガスメータは地震を検知(震度5以上)すると自動停止します。しかし、身の安全が確保されたら、ガスの元栓を閉める。	
4	避難所、避難場所 (避難路は大丈夫？)	指定された 避難場所：東部公園(第四中脇) 避難所：吉田小、第四中、市民センター 福祉避難所：県立水戸特別支援学校 ・それぞれの避難所、避難場所までの避難路は大丈夫？ ・災害時要援護者は？ 今後、同意を得て把握し、イザという時は、隣近所で助け合う。	
5	築35年以上の建物 (被害を受けやすい)	木造で35年前に建てられた家は耐震対策を。 1981年に耐震基準が大幅に改正された。旧耐震基準では、震度5程度の地震に耐える。 新基準では、震度6以上で倒れない。旧基準で建てられた木造家屋は、被害を受けやすい。	
6	シエクアウト訓練 (様々な場所で1分間の訓練)	狭い路地で、ブロック塀が両サイドにある住宅地で歩行時、緊急地震速報を聞いた。あなたならどうする？ 事前のイメージトレーニングが大切です。 自宅、ショッピング中、運転中、映画館、職場等	
7	AED/子供を守る110番の家	どこにあるかなAED？子どもを守る110番の家？探検する。	
8	☆地震時の行動	①地震だ！ まず身の安全(身の安全を最優先に行動する。)	
9	☆地震直後の行動	①落ち着いて火の元確認 初期消火 ②あわてた行動けがのもと ③窓や戸を開け 出口を確保 ④門や塀には近寄らない	地震 その時 10ポイント (別紙、イラスト参照)  (消防庁)
	☆地震後の行動	①火災や津波 確かな避難 ③確かめ合おう わが家の安全 隣の安否 ④協力しあって救出・救護 ⑤避難の前に安全確認 電気・ガス	

住吉上防災マップ

平成27年8月



XX 班NO 1~24班

- 防火水槽 7ヶ所
- ★ 消火栓 22ヶ所
- 公園
- ▲ 防災倉庫

◎災害時の避難所 ① 吉田小学校 247-5252

② 第四中学校 247-5554

③ 吉田市民センター247-2316

福祉避難所・・・高齢者や障害者で特別な配慮が必要な方(特別支援学校)

◎災害時の避難場所 ① 東部公園

◎住吉上自治会では、一時的な避難場所として、「子ども広場、住上公民館」も利用可

水戸市指定の避難所等

# 地震

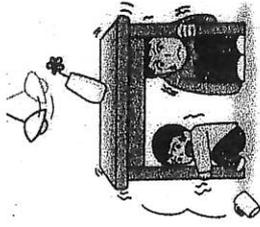
## その時10のポイント

### 地震だ！ まず身の安全

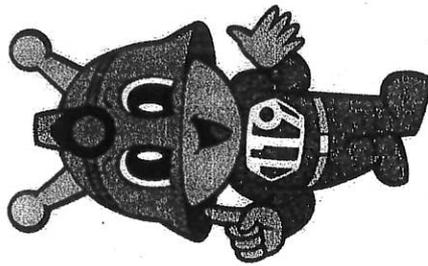
- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりに揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



### 地震時の行動



### 地震直後の行動

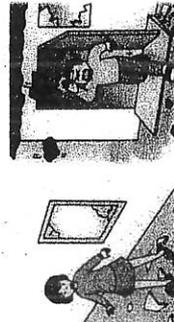
#### 落ちついて 火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消火する。



#### あわてた行動 けがのもと

- ・屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



#### 窓や戸を開け 出口を確保

- ・揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



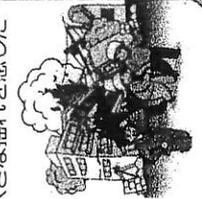
#### 門や扉には 近寄らない

- ・屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



#### 火災や津波 確かな避難

- ・地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合同場所や避難場所に避難する。
- ・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



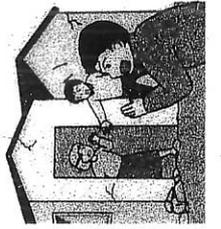
#### 正しい情報 確かな行動

- ・ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



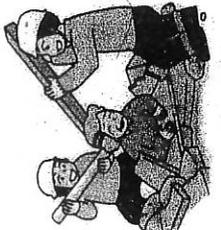
#### 確かめ合おう わが家の安全 隣の安全

- ・わが家の安全を確認後、近隣の安全を確認する。



#### 協力し合って 救出・救護

- ・倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



#### 避難の前には 安全確認電気・ガス

- ・避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



### 地震後の行動

# 講演・ワークショップ依頼票

記入日: 平成 31 年 1 月 13 日現在

主催者	住吉上防災会・住吉自治会(約400世帯)
イベント名	第4回防災イベントの開催
開催場所	水戸市住吉町10-9 子ども広場
講演等希望日	① 平成 31 年 2 月 10 日 (日曜日)
	② 平成 年 月 日 ( 曜日 )
開催時間	午前10時～12:00までの間
演題(仮で結構です)	自主防災組織・住吉防災会のイベント開催
希望する講演のポイント	街なか探検及び段ボールベットベットの組み立て
	当日は、消火器訓練・毛布の搬送訓練(消防予防課職員)、ジャッキを利用した救出・救助訓練(防災会役員)、非常食の作り方(市危機管理課職員)
当日の概要	テントを2張をセット、受付を行い、消火器・炊出し訓練や街なか探検を行う。
主な参加対象	吉田小教諭、子ども育成会連合会、吉田地区防災連合会長、水戸市議
参加予定人数	子ども20人、大人40人
交通費	なし
謝金	5,000円  (謝金・交通費は、原則として、後日一括して当法人口座へ御振込み頂きたいと思えます。)  (振込ご依頼人名: )
前泊・後泊の有無	有 ・ 無
その他・要望	挨拶 水戸市議 黒木議員「防災士」
	街なか探検・段ボールベットの組立て 2名の要望 ※1月12日(土)夜、町内班長会議で開催決定した。雨天の際、公民館で実施
ご担当者	住上防災会長 加瀬 孝雄
	9022025737

※本票は打合せの為のものです。正式に決まった場合は、当日の運営方法等事前にお知らせ願います。

連絡日	1月13日
報告者名:	
講師名:	

決定
----

# 講演会等実施報告書

報告年月日	平成31年2月10日		理事長	担当部長
報告者				
イベント名称	住吉上防災会第4回防災イベント開催	講演会一覧NO		
実施日・時間	平成31年2月10日（日）	10時00分～	12時00分	
実施団体(依頼先)	水戸市住吉上自治会・住吉上防災会			
実施場所	水戸市住吉町10-9	振込予定日	平成 年 月 日	
事業の分類(内訳)	①普及啓発 ③団体支援 ④広報	" 予定額		円
担当責任者氏名				
打合日及び担当者 PM7:00	平成30年12月10日	担当者名		
	平成31年1月12日	担当者名		
	平成31年2月2日	担当者名		
実施協力者氏名	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩	⑪	⑫
実施内容・報告等	講演 <sup>*1</sup>	演題: 震災時の対応		
	研修 <sup>*2</sup>	(DIG) (HUG) (避難所開設演習) (その他)		
	防災訓練	防災計画書に基づく防災訓練		
参加人数	約60名			
生徒 約12名	本年度の27班長、昨年の班長、等40名、子ども育成会子ども及び父兄20人			
教職員 2名	市危機管理課室長以下3名、消防予防課2名、小学校長、教頭、市議会議員(防災士)			
自治体 名	防災士3名などが参加した。訓練内容は			
行政 5名	消火器訓練、ジャッキを利用した救出・救助訓練、非常食の作り方、市備蓄品の紹介			
その他 班長 名	段ボールベットの作り方体験、3班編成の街なか探検である。			
合計 60名	詳細は、添付書類のとおり			
内訳 男	なお、見学者(柴田美智子、田村静子、渡辺平、中崎智雄各防災士)は、近くで打ち合わせで			
女	立ち寄る。			
今後の課題等	街なか探検では、事前調査を班長に依頼することは、厳しいため、通学路の交通・防災上の			
	課題を役員が把握し、事前対策が必要である。防災上必要項目は、既にマップに記載			
	記載済みである。			
支出内訳	①普及・啓発	②災害地支援	③団体支援	④広報
	⑤その他の事業	⑥助成金	⑦管理費	( )
旅費等	①1500	②1000	1000	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩	⑪	3500
受領日	平成 年 月 日	領収者氏名	印	

○実施内容・報告等欄について 1\* 講演会や講座の場合は演題を記入のこと。  
 2\* 研修の場合、DIG HUG 避難所開設の該当部を○で囲むこと。  
 ○実施内容、感想は機関紙掲載時の記事の参考としますので必ず記入してください。

理事長	経理担当

# 茨城新聞

11月27日

日曜日

茨城新聞社

〒310-8686

水戸市笠原町070-05

地域 (16)

## 県内総合

2016年(平成28年)11月27日 日曜日

茨城

# 地元企業と防災訓練

水戸市住吉町の住民らによる自主防災組織「住吉上防災会」（加瀬孝雄会長）は26日、連携協定を結ぶ地元企業と連携し、小型消防ポンプなどを用いた防災訓練を実施した。約80人が参加し、災害への意識を高めた。同会によると、自主防災組織が企業と協力し、訓練に当たるのは珍しいケース。

## 工場所有ポンプで放水

### 水戸の住民組織

同会は昨年8月に結成され、約400世帯が加入している。これまでに地域の実情に即した防災計



防災訓練でポンプを使い放水する住民ら。水戸市住吉町

画書を策定したほか、湘南工作所水戸工場（同所、小林永世工場長）と協定を結び、同社が所有する小型消防ポンプを災害時の初期消火に活用することを決めるなど、防災への取り組みを続けている。

放水訓練で参加者は、同社員からポンプの扱い方について説明を受けた。エンジンの始動から始まり、ホースをつなぎ合わせるなどして、敷地内の貯水槽から約50メートル離れた壁に向けて放水した。

このほか、参加した市立吉田小の児童らは地図を手に町内を歩き、防火水槽の位置や、地震が起きた際に崩れる恐れのある壁の場所を調べた。大人たちは広場で、市消防本部長から天ぷら火災が発生したときの対処法を学ぶなどした。

訓練を見守った高橋靖市長は「地区の安心と安全を守る皆さんに感謝したい。行政としても活動を支援したい」と話し、加瀬会長は「大切な財産と命を守るため、引き続き訓練を重ねたい」と決意を示した。

（鈴木剛史）